

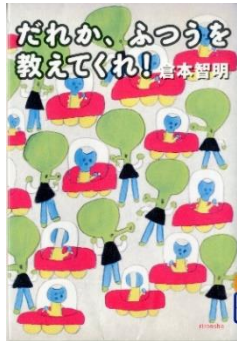


2020.12

Young Adult Books Best Selection

ふつうってなんだろう？自分とは違うところがある人は、ふつうじゃないのかな？

普段の生活の違いや、障がいを持つ人、みんなと同じじゃなければ、ふつうじゃなくなるの？
12/4～10は人権週間です。違いを認め合う心や、理解を深めることによって人権は守られます。



だれか、ふつうを
教えてください！

倉本智明 著
理論社

小学校の頃から少しずつ視力が落ちてきた著者。障がい者との向き合い方だけでなく、世代や性別、生まれた場所や民族、ものの考え方など、「ふつう」ってなんだろうと考えるきっかけになる本です。



ボクシング・デイ

かしざき
榎崎茜 著
講談社

12/26は「Boxing Day」。人にはみんなプレゼントをもらう権利がある。『ことばの教室』に通っていた主人公の葉は、先生からたくさんのプレゼントをもらってきたことに気づきます。



きみの存在を
意識する

梨屋アリエ 作
ポプラ社

「あの子は、なまけている」「わがままだ」
自分ではふつうだと思っていることなのに、周囲からそう思われている中学2年生の子どもたちは、それぞれが困っている問題や悩みを抱えていました。



さく あき
朔と新

いとうみく 著
講談社

高速バスの事故に巻き込まれて視力を失った兄と、そのバスに乗る原因をつくった弟。2人の兄弟をつなぎ止めたのは、一本のロープでした。

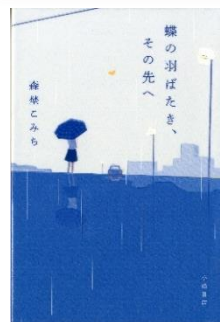


ともだちって
どんなひと？

赤木かん子 著
埼玉福祉会出版部
LLブック☆

「ともだち」の境界線はどこだろう？
知的障がい者だけではなく、全ての人に読んでほしい本です。絵は、『異才発掘プロジェクトROCKET』第一期生の濱口瑛士さんが描きました。

☆ LLブック…やさしく読みやすい本



蝶の羽ばたき、
その先へ

もりの
森埜こみち 作
小峰書店

とっぽつせいなんちよう
突発性難聴で左耳が聞こえなくなった中学2年生の結。教室内のざわめきで、先生の声や友だちとの会話も聞き取りにくい毎日。そのことを親友にも打ち明けられずにいました。

水巻町図書館